

絆

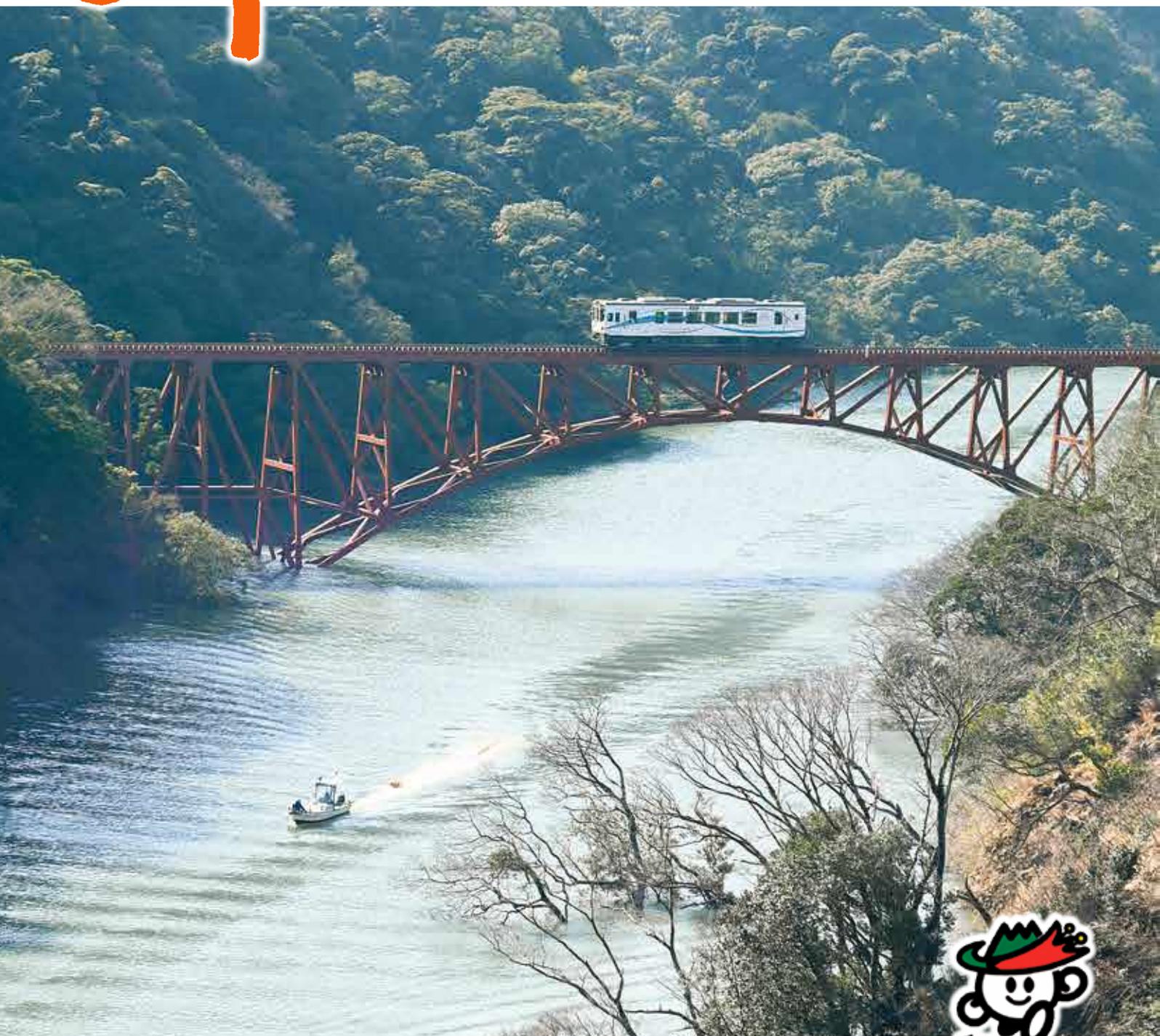


熊本県 高森町

熊本阿蘇「野の花と風薫る郷」

議会だより

3月定例会



風まる

No.92

令和6年5月発行

3月定例会	2
常任委員会報告	6
町政を問う（一般質問）	8
第1・2回臨時会	10
町民の声	11

令和6年 第1回3月定例会

同意2件・議案27件を審議し、
全て原案のとおり可決した。

令和5年度一般会計補正予算(第8号)

2億560万1千円を減額

予算総額 87億7,002万5千円

人事案件

同意第1号

高森町固定資産評価審査委員会委員に
橋本 和則氏が選任されました。

(任期：令和6年4月1日～令和9年3月31日)

同意第2号

高森町固定資産評価審査委員会委員に
山村 俊澄氏が再任されました。

(任期：令和6年5月12日～令和9年5月11日)

指定管理者の指定について

各施設の指定管理者の指定について、下記のとおり可決した。

議案番号	施設名	指定管理者となる団体の名称	期 間
議案第4号	高森町交流センター	高森町商工会 会長 吉良 嘉人	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日
議案第5号	高森町奥阿蘇物産館 及び高森町奥阿蘇キャンプ場	(有)甲斐商店 代表取締役 甲斐 一郎	
議案第6号	高森町奥阿蘇特産品加工場	(有)ヴルスト阿蘇 取締役 中村 敏治	

令和6年度高森町一般会計予算

67億7,000万円

対前年度比 9億2,000万円増

主要事業等

国・県補助金活用事業

事業名	概要	事業費
T（たかもり）ポイント制度構築事業	地域に人とお金を循環させるデジタル地域通貨システムの構築・運用を展開する	事業費 6,140万円 デジタル田園都市国家構想交付金 3,070万円 ふるさと応援寄附金 3,070万円

単独・その他事業

事業名	概要	事業費
高森総合センター等リニューアル設計業務	高森総合センターに福祉部門を集約しワンストップ化を図る	事業費 4,504万円 ※公共施設等管理適正推進事業債充当

「ふるさと応援基金」活用事業

事業名	概要	事業費
移住・定住促進新築（中古）住宅取得事業補助金	高森・南阿蘇地域からの人口流出を防ぎ、高森町への移住定住を促進する	事業費 1,300万円

「高森町将来をになう人材育成基金」活用事業

事業名	概要	事業費
高森町次世代定住促進奨学資金貸付制度	貸付金額の増額及び卒業後に条件を満たした方の返還を免除する	事業費 600万円

「未来のまちづくり事業継承基金」活用事業

事業名	概要	事業費
たかもり介護人材確保緊急3カ年事業（1年目）	町内で働く介護支援専門員（ケアマネ）人材確保推進独自支援	事業費 1,450万円

令和6年3月定例会 主な質疑応答

議案第8号

工事請負契約の変更

質疑 「佐伯金也議員」

想定外の事案による増額変更は仕方ないが、不落後の再入札の際に不要として削除した内容が今回の増額分において復活していることは是非は。

応答 「政策推進課長」

今後発注が想定される部分を事業予算内で追加計上した。

議案第9号

ふるさと応援事業償還基金設置条例の制定

質疑 「後藤麻議員」

充当のタイミングについて、寄付者の意向に沿えば過去の事業でも一括償還等の繰り上げが可能か。

応答 「総務課長」

お見込みのとおり。

質疑 「佐伯金也議員」

長期的な財政指針を念頭に、目的に応じた適切な基金運用は。

応答 「町長」

町外の方々からの各寄附金及びクラウドファンディングによつて頂いた貴重な財源の使い道は、ご寄付いただいた方々の意向に沿うべきである。過去の事業が次世代の負担にならないよう、将来的にも健全な財政運営を図る。

議案第10号

高森町次世代定住促進奨学資金貸付条例の制定

質疑 「佐伯金也議員」

「優秀」の定義は。また償還免除規定の認定・決定者は。

応答 「教育委員会事務局長」

次段階の教育機関でしっかりと意欲を持って学ぶ姿勢を優秀として頑張っていたきたい。免除

規定については、当局における厳密な審査のうえ町長が決定する。

質疑 「後藤三治議員」

従前の貸付条例対象者への新規適用は。

応答 「教育委員会事務局長」

対象者の意向を確認し適切に対応する。

応答 「町長」

新旧規定対象者分け隔てなくしっかりと活用できるよう対応する。地元への帰郷を町として歓迎し、その思いを精一杯支援するための制度提案であり、償還免除は町が責任をもって判断する。

議案第11号

熊本県立高森高等学校魅力化推進基金設置条例の一部改正

質疑 「佐伯金也議員」

高森高校の活性化に関し、町を挙げて推し進める本町関係者の尽力・応援に比べ高校関係者の行動が見えてこないが、どうなっているのか。

応答 「教育長」

同様の意見をお持ちの方は他にもおられ、高校側の姿勢が問われている。町教育委員会は高校側の率先した行動を後押しする立場ではない。特に普通科グローバルコースへの進学率向上を図っていききたいとの意向である。



熊本県立高森高等学校

議案第17号

高森町消防団員の定員、 任免、給与、服務等 に関する条例の一部改正

【佐伯金也議員】
町内施設入所者が行方不明

になった場合の搜索報酬の出所は。施設側の責任を問う必要があるのでは。

【総務課長】
基本的には町支出となる。

【後藤三治議員】
災害と警戒の違いは。訓練・式典の報酬単価が安過ぎないか。

職責に見合った単価の検討を。

【総務課長補佐】
警戒の報酬を据え置き。特別警戒情報や高齢者等避難準備情報など実際に災害が発生、またはその危険が迫っている場合の緊急措置等の警戒レベル対応を災害、警報発出が予想される前段階の巡回など注意報レベルにおける事前対応等を警戒と想定し区分している。

議案第24号

令和6年度高森町一般会計予算

【後藤巖議員】
財政調整基金を積み上げた後の活用目的及び構想は。

【町長】
いざという時に使用可能な備えが第一の目的。財政調整基金を崩さずとも各基金の活用により各事業の対応は可能。攻めの姿勢に出るのであれば、将来的には投資による運用で利を稼ぐことも考えていくべき。

【佐藤武文議員】
4tユニット車購入について、町負担分を考慮すると中古車でも対応可能なのでは。

【農林政策課長】
中古車も検討したが、補助率や納車時期を考慮し新車購入がベストであると判断した。

【佐藤武文議員】
UDieスポーツ関連備品購入財源として集落支援員活動費を充てることの整合性は。

【健康推進課長】
特別交付税の範囲内で町負担が発生しないため財源として明記した。

【佐伯金也議員】
たかもり光通信の料金設定見直し協議予定は。

【政策推進課長】
現契約が満了となる令和6年度中に契約更新内容を含めた協議予定。新規契約時における引込工事が無料となっており、トータルでは他の通信料と比較すると割安なのでは。

【佐伯金也議員】
商工費オーバーツーリズム解消事業・ワークショップ開催負担金とは。

【政策推進課長補佐】
オーバーツーリズム解消事業とは、高森駅交流施設完成に伴う駅周辺のプロモーション展開による認知度向上、賑わい創出、将来的なオーバーツーリズム解消を目指す取組み。ワークショップ開催負担金とは、観光推進機構の活動の一環として食を活用したワークショップを行う負担金。

【佐伯金也議員】
高森総合センター等改修設計業務委託料が極めて高額である根拠は。

【総務課長補佐】
国土交通省発行積算要領に基づき委託料を算出し、施設使用上の安全を担保するため耐震診断を加算している。

【総務課長補佐】
国土交通省発行積算要領に基づき委託料を算出し、施設使用上の安全を担保するため耐震診断を加算している。



高森観光推進機構

総務文教常任委員会報告

☆閉会中の継続調査

2月5日、6日に常任委員会研修を開催し、鹿児島県さつま町の県立薩摩中央高校、宮崎県えびの市の県立飯野高校を訪問した。選定の理由は本町と同じく県立高校があり、行政が生徒寮を整備していることより選んだ。

整備理由として地域の過疎化、少子化による生徒数の減少に危機感がでたこと、地域の大きな財産として維持をしていくことの必要性を行政及び地域が理解したことが挙げられる。

両自治体において共通課題として、財源の問題が上がった。本町はふるさと応援寄付金でカバーしており、政策支援をするにも財源確保の大事さを痛感した。

2月29日に常任委員会を開催。3月定例会上程予定の議案内容の説明、既事業の進捗のヒアリングを行った。

☆会期中の委員会審議 (主なものを掲載)

3月13日、委員会に付託された「工事請負契約の変更」「ふるさと応援事業償還基金設置条例の制定」「高森町次世代定住促進奨学資金貸付条例の制定」「熊本県立高森高等学校魅力化推進基金設置条例の一部改正」「高森町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正」「令和5年度高森町一般会計補正予算」「令和6年度高森町一般会計予算」「令和6年度高森町鉄道経営対策事業基金特別会計」以上契約変更1件、条例4件、予算2件、特別会計1件について担当より説明を受け審議した結果、可とした。

【主な質疑応答】

◎高森町次世代定住促進奨学資金貸付条例の制定

【質】高校3年間、大学4年間の7年間で約300万円の貸付になるが、10年での償還計画につ

いて、及び免除申請の条件である居住の実態についてどのようなのか。

【答】償還計画については高校、大学を卒業する年に返済計画を申請してもらうことになっている。また免除の場合は毎年度申請を求め、詳細な報告をもとに居住の実態等しっかりと把握する。

◎令和6年度高森町一般会計予算

【質】町民グラウンド解体工事の内容について尋ねる。

【答】ナイター設備及び倉庫やフェンスなども解体する。公共施設あり方検討委員会の中で、高森高校第2グラウンドを高森町多目的広場として整備、代替施設として機能を持たせる。整備終了後に解体工事に着手する予定。

◎オーバーツーリズム解消事業

【質】高森駅前賑わい創出、国鉄高森線100周年、南阿蘇鉄道

40周年を迎えるなかで、どのような展開をするのか。

【答】昨年7月～9月は県観光連盟のビッグデータ上で高森町のお出かけ指数が県下で1位だった。1年経過し誘客が落ちてくることも考えられ、下支えとして整備していく。周年事業はより多くの人が満足して頂けるような事業になるよう検討していく。

◎工事請負契約の変更(高森駅B1区)

3月14日特別委員会終了後、担当課と高森駅B1区の進捗状況並びに追加工事の説明を受けた。追加工事は元々計画していた工事の復活分であり、新たな工事ではなく予算範囲内で追加したものであることを現地に確認した。

その他、各基金より支出した事業の確認のため、一覧表の提出を受けた。

産業厚生常任委員会報告

☆閉会中の継続調査

2月28日

町道天神・月廻り線用地買収状況について協議した。

☆会期中の委員会審議

委員会に付託された「令和5年度高森町一般会計補正予算」

「令和5年度各特別会計補正予算（国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・簡易水道事業・農業用水供給事業）」、「令和6年度高森町一般会計予算」「令和6年度各特別会計予算（国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・簡易水道事業・農業用水供給事業）」の12議案である。担当課より詳細な説明を受け審議した結果、すべての議案を可とした。

◎令和5年度高森町一般会計補正予算について

【主な質疑事項】

議案第18号 令和5年度高森

町一般会計補正予算は、令和5年度の最終補正であり、そのほとんどが事業実施に伴う不用額の補正であるとの説明であった。

委員からは、マイナンバーの取得状況の質問があり、2月末での取得率は80%との答弁に対し、残り2割の町民に丁寧な説明を行い、支障がないよう要望した。

令和5年度の住民健診率について質問があり、12月末時点では、51.7%で、3月末まで個別検診を行うことから、令和4年度と同等になる見込みである。

新規就農者育成総合対策経営開始資金事業補助金で、令和5年度は該当者がなく事業実施ができなかったとの報告で、委員からは、事業周知を行うとともに農業活性化に努められるよう要望が出された。

議案第19号 令和5年度高森町国民健康保険特別会計補正予算、議案第20号 令和5年度高

森町後期高齢者医療特別会計補正予算、議案第21号 令和5年度高森町介護保険特別会計補正予算、議案第22号 令和5年度高森町簡易水道事業特別会計補正予算、議案第23号 高森町農業用水供給事業特別会計補正予算は、年度末の最終補正である。

◎令和6年度高森町一般会計予算について

【主な質疑事項】

議案第24号 令和6年度高森町一般会計予算について、当初予算概要書で、「未来のまちづくり事業継承基金」活用事業の10事業について説明を受けた。

委員からは、昨年4月にこども未来係が新設され、これまでも「パパ・ママ応援事業」の取り組みが行われている中、令和6年度の事業を行うとなれば担当者の負担は計り知れない。庁舎内において十分な検討をされたい。

○ケアマネ資格取得・継続支援補助金等の予算が計上されているが、本来ケアマネの募集等は事業所が行うべきではとの意見も出された。人員確保が難しい中ではあるが関係機関との協議をされたい。

○「ふるさと応援基金」活用事業の高森町農業師匠バックアップ事業について、現状と課題・事業の目的が達成できるよう事業推進を図りたい。

○橋梁の掛替・補修工事が本格化する中、道路改修工事や修繕工事と合わせ十分な検討をされたい。

議案第25号 令和6年度高森町国民健康保険特別会計予算、議案第26号 令和6年度高森町後期高齢者医療特別会計予算、議案第27号 令和6年度高森町介護保険特別会計予算、議案第28号 令和6年度高森町簡易水道事業特別会計予算、議案第29号 令和6年度高森町農業用水供給事業特別会計予算は、令和5年度とほぼ同程度の予算規模を予定している。

町政を問う

■ 南阿蘇鉄道高森駅周辺整備と観光振興

■ 九十九曲がり高森自然公園の整備



佐藤 武文 議員

質問 高森駅周辺整備の状況と整備完了後の観光振興政策について

政策推進課 南阿蘇鉄道全線運転再開から1周年となる本年7月までには、全ての周辺整備が完了する見込みであり、津留源三郎氏の頌徳碑は、駅敷地内に移設した。

高森駅周辺再開発は、防災の拠点、町民や学生の集う場所、観光の情報発信やイベントの拠点となるよう整備を行っている。交流施設等の運営管理については、検討中であるが、指定管理者による運営を想定している。また、鉄道施設に隣接しているため、南阿蘇鉄道や南阿蘇鉄道管理機構との連携が必要となる。

全線運転再開後は、高森観光推進機構と連携して、まちなか散策マップの作成、駅弁販売や電動キックボードのレンタル等を行ってきた。令和6年度は、キッチンカー事業者と連携したイベント等を実施して、認知度向上を目指すとともに、2次交通の充実を図るため、ライドシェアの実証実験を行う。

質問 高森峠の千本桜の管理と九十九曲がり自然公園全体の整備について

生活環境課 千本桜の管理については、令和6年度県民の未来につなぐ森づくり事業により、ベンチや木柵等の補修、駐車場の整備などを実施するとともに、お花見広場を中心に、桜や紅葉の植樹、桜の古木や雑木の撤去、テングス病対策などを計画している。お花見広場以外は、令和7年度以降に順次整備していきたい。

政策推進課 九十九曲がり活用検討委員会からは、年間を通したにぎわいの創出と自然環境の保護を基本とする提案がされている。

生活環境課 千本桜、九十九曲りを除く公園全体の整備については、景観の維持に努めていきたい。

町長 高森駅及び周辺整備は、全国の多くの方から寄附をいただいていた。心からお礼申し上げたい。高森駅を中心とする観光の振興は、町外の事業者の参入も有効であるが、地元の事業者との均衡を図りながら進めなければならぬ。駅周辺から町内各地に行くための二次交通対策として、ライドシェアの導入も必要



高森峠千本桜

と考える。九十九曲がりの整備については、活用検討委員会からは有意義な提案をいただいていたが、新型コロナウイルスの影響もあり活動できていなかった。今後は、専門的な知識をもとに、桜の植栽や管理を行うとともに、湧水トンネルと一体化した展開なども検討したい。千本桜の復活とともに、サクラミチなど新たな観光スポットが増えつつあり、高森町に求められる方も多くなるので、選択と集中により観光政策を進めたい。

一般質問



- 地域みらい留学
- 高森東学園校区から高森高校へ進学する場合の支援制度創設

児玉 幸之助 議員

質問 高森高校への高森中学校及び高森東学園からの進学者数の実績について。

教育委員会 教育事務局長 令和元年度から令和5年度における高森中学校卒業生

245名に対し、高森高校への進学者は34名で、率で表すと13.9%。高森東学園は卒業生28名に対し、高森高校への進学者は16名、率で表すと57.1%になっている。

質問 普通科グローバル探求コースの活性化を目的として「地域みらい留学制度」に取組むことができな

教育長 大前提は高校側の全国から生徒の受け入れにあたって、検討と体制構築、県予算の要件に合致

しない場合、費用負担のあり方、高森町で暮らす学生の住環境の整備がしっかりとマッチングできた際には、十分実施する価値がある制度であると考えている。

質問 高森町が独自で行っている高森町立学校の生徒が高森高校へ進学する際の支援はあるか。

教育委員会 教育事務局長 高森高校に対し、高森高等学校校就学支援事業助成金として毎年100万円の補助金を交付して

おり、高森高校を通じて生徒の入学金と教科書代金の支援を行っている。

質問 高森東学園校区の生徒が高森高校へ進学する際、通学に必要な手段の一つである公共交通機関

がないために保護者の負担が大きくなっている。これに対する新たな支援策はないか。

町長 高森東学園の半数以上の生徒が高森高校へ進学しており、

通学方法について、一部の生徒は原付バイクで通学しているが、その他は保護者の自家用車による送迎である。高森町山間地域課題検討委員会

で、課題について対策を検討するよう指示し、高森高校へ通学する生徒を送迎する保護者に対し、支援が必要であるとの検討結果の報告を受けている。教育委員会事務局で、必要支援スキームの構築について検討させ、野尻草部地区が抱える課題解決の一環として確実に施策化し高森東学園校区の生徒、保護者の負担軽減を図りたい。

質問 高森町立学校から高森高校への進学を後押しするような、新たな奨学金制度の創設について。

町長 子供の数の絶対数の減少と、人口減少による過疎化の進行

で、郡部から熊本市内の普通高校へ生徒が流れている。国が進めている子育て支援の一環で、高校の授業料の無償化が大きく影響しており、多くの生徒の進学マインドが私立高校へシフトしている状況がある。高森次世代定住促進奨学金貸付条例案、大学等への進学のみならず、高校へ進学する際に利用可能な新たな奨学金制度を従来の制度に金額面、返還措置を拡充し提案している。



高森東学園義務教育学校

令和6年 第1回臨時会

議案2件を審議し、原案のとおり可決した。

令和5年度一般会計補正予算(第6号)

2億187万3千円を追加

予算総額 88億8,039万3千円

主要事業等

議案番号	件名
議案第1号	不動産の取得について 高森高校第2グラウンド(野球グラウンド他)を高森町多目的広場用地として取得することを可決した。

令和6年 第2回臨時会

議案1件を審議し、原案のとおり可決した。

令和5年度一般会計補正予算(第7号)

9,523万3千円を追加

予算総額 89億7,562万6千円

国・県補助活用事業

介護基盤緊急整備特別対策事業補助金

●県補助金を活用して、介護予防拠点としての公民館改修を行います。

※令和5年度の事業として5箇所の採択について内示済み。本町の申請事業は「全て採択」。

(永野原公民館、下山公民館、今村公民館、上玉来公民館、河地公民館)

※整備後の活用については、週1回の通いの場(介護予防活動)を住民主体で実施。

⇒いきいき百歳体操、ポッチャ、UD-eスポーツなど

※理学療法士による体力測定及びリモート結果説明

事業費	補助額	一般財源
4,437万円	4,437万円	0円



町民の声



相馬 勝也さん
(高森・昭和北)

昭和39年生まれで60歳の還暦を迎えます。現在、妻と二人暮らしで、朝早くから勤務先の大津まで通勤する毎日です。

あまり趣味といった趣味はない私ですが、暇をみてはバイクを走らせることが何よりの楽しみとなっています。バイクで他町村を走っていると、その町・その村の新たな発見をすることができます。高森にお越しの観光客も同じような気持ちでここ高森にお越しのことでしょう。今高森町は、熊本地震からの創造的復興で高森駅の新駅が昨年完成し、本年度は隣接する交流施設等が完成するとのこととあります。この完成を期に、高森町が掲げる「観光立町の町」にふさわしい取り組みに期待します。

昼間のほとんどが仕事で他町村にいますが、高森町のことはよく耳にします。特に、子どもに特化した事業は子育て中の保護者にとって、何よりの支援策と思います。この4月、私にとって二人目となる孫が誕生し、娘夫婦もありがたい取り組みにさぞかし感謝していることだと思います。私ももう少し頑張っ、孫たちの成長を応援していきたいと思っております。

私たちが政治にかかわることは直接的にはあまりないと思いますが、選挙に行くということは私たちができる政治参加のひとつだと思います。議員各位の頑張りに期待します。

町民の声

3年前まで地域おこし協力隊として南阿蘇鉄道に勤めておりましたご縁で、3月16日よりトロッコ列車の車掌として乗務させていただいております。

車掌さんの仕事は幼い頃からの夢でした。今は自営業も営んでおりますが、久しぶりに列車乗務員をさせていただきとても嬉しく、毎日楽しく乗務をさせていただいております。

全線が復旧し、間もなく一年が経ちますが、これからが本当の正念場です。

思っているのは、いま列車をご利用のお客さまは、残念ながら半数以上が高森に着いたら直ぐに折り返しの列車で帰ってしまわれています。とてももったいない！やるべきは、人気のトロッコ列車を最大限に活かした高森の観光振興です。まずは、駅周辺の観光コンテンツの開拓が必要です。

そういう意味では、駅の終点に作られているラウンジ館をどう使うかが今後のカギになると思います。「高森にトロッコ列車で遊びに行けば、いつも駅周辺で何か楽しいことをやっている♪」というようなイメージを作れば、自然と高森での滞在時間も増え、経済も活性化すると思います。

南阿蘇鉄道は沿線住民の皆様から愛されている鉄道だということ、列車に手を振って下さる方々にお応えする度に身をもって感じています。国鉄時代、廃止が決まった高森線を残していただいた先輩方の情熱を胸に、また震災による2度目の危機を乗り越えて復活した南鉄を、記憶に残るような楽しい列車の旅をご提供しながら守って参りたいと考えております。

南阿蘇鉄道は、きっと日本でいちばん幸せな鉄道会社です。頑張ります♪



田中 亮介さん
(高森・下町)

総務文教常任委員会報告

2月5日、6日、鹿児島県薩摩市、宮崎県えびの市で行政視察研修

総務文教常任委員会の視察研修は、教育委員会事務局同行で、将来にわたり地域に高校教育機関を存続することを目的に、現在全国で展開されている「地域みらい留学制度」の実施について高森町で検討できないかという点にテーマをおいた研修を行いました。

視察した鹿児島県立薩摩中央高等学校は、「地域みらい留学365」による生徒が1名、もう1校の宮崎県立飯野高等学校では、令和2年度から5年度までに25人が留学制度で入学し、来春の新入生も10人程度留学希望があるとのことでした。

「地域みらい留学制度」への取り組みについて、関係者と情報を共有し、地元中学生の進路指導への取り組み、若者を通じた地域活性化に繋がると思いました。

最後に、今回の行政及び高校の視察研修に参加し、高森町の検討課題克服を目標に、委員会と担当課で協議をしていきたいと思えます。

議会の動き

	期 日	内 容	場 所
1月	3日(水)	高森町二十歳の集い	高森町
	7日(日)	高森町消防出初式	高森町
	23日(火)	第2回町村議会議員研修会 (Zoom)	高森町
2月	4日(日)	立野ダム試験湛水視察	南阿蘇村
	5日(月)~6日(火)	総務文教常任委員会視察研修	鹿児島県・宮崎県
	14日(水)	後期高齢者医療広域連合全員協議会及び定例会	熊本市
	17日(土)	立野ダム完成式及び祝賀会	南阿蘇村
	22日(木)	熊本県町村議長会第74回定期総会及び懇親会	熊本市
	27日(水)	高森町飲食店組合総会・懇親会	高森町

編集後記

新たな年度がスタートいたしました。これからの高森町は新緑が美しく、気候も過ごしやすい季節です。編集にご協力いただいた皆様から心から感謝申し上げますとともに、これからもより良い広報誌をお届けできるよう、努めてまいりますので、引き続きご支援・ご愛読のほど、よろしくお願い申し上げます。
白石 豊和

議会広報特別委員会

議 長 牛嶋津世志 (発行責任者)
委員 長 後藤 巖
副委員 長 児玉幸之助
委 員 白石 豊和
委 員 武田 栄喜